

## プロフィール (自己PR)

中野区に生まれ、中学、高等学校も中野で育ちました。その後、大学は岡山にて6年間薬学を専攻。寮で集団生活をする中で寮長にも選ばれました。

大学を卒業後は東京に戻り荻窪の病院で病院薬剤師として3年程勤務後、兼ねてより海外の文化に触れたいという夢を叶えるためスペインへ渡りました。

スペインから帰国後は現在まで薬局で薬剤師として働いています。

今までの経験を通して何事にもとことんやり抜くことが身につきました。例えば、薬剤師として日々患者と接している。ひと間違えると命に関わる仕事です。持つてきた処方せんに少しでも疑問点があれば、すぐに医療機関と連絡を取り合い、患者の状況を話し、医療機関の意見を聞き処方を変える必要があるかどうかを話し合い、患者にとって最適な医療を提供しています。

ところが話し合いの中でおぼろげなコミュニケーションはあります。意見が異なる事はしばしばあります。その時はただただ受け止めるのではなく、自分自身、医療機関、患者、皆が納得できるような解決方法を必ず見つけ出す事を日々心がけて仕事しています。

今後もとことんやっていくという強さを生かして中野区教育委員の仕事をやっていきたいと考えております。

氏名 喜多 厚子

教育委員になった際に取り組む課題（箇条書き）

※優先度の高いものから順に、3項目以内で記入してください。

1. (課題) オンライン教育（子供、社会人、高齢者）について

その解決方法（箇条書きで簡潔に）

- 中野区発信での議題に多くの人が自由に参加、意見を言える場を作る。
- 高齢者にも専門スタッフの手伝いの元、参加者を増やし孤独、社会から隔離されるのを防ぐ地域に参加してもらう。

2. (課題) 元気、イキイキ活発なスポーツ教育 について

その解決方法（箇条書きで簡潔に）

- 働いている人にも参加しやすい教室の増築、テータ分析による中野区民の傾向に基づいたシステム作り。
- 体を動かすことと通いの健康管理への教育、取り組み病気を未然に防ぐためにどう生活していれば良いかを学び継続していくシステム作り。

3. (課題) グローバル化に（対）中野区、基盤作り について

その解決方法（箇条書きで簡潔に）

- 外国語の相談センター作り（店舗X2、店作り、道案内など）
- 中野区民の英語力など外国語力アップ（オンライン教育なども通って、週末でも社会人参加しやすいように）
- 店舗スタッフへの語学力アップへの支援

氏名 喜多 厚子

教育委員に応募する理由（横書きで記入してください）

中野区の良い環境に恵まれて	生まれ育ちました。	今までの感謝の気持ちも自分の力を生かして地元で貢献したい。	という気持ちも強くなり、	昨日、コロナによる影響で休校が増え、仕事も減るなど、大変な状況です。	以前までの生活スタイルが、急に必要になり、即成概念を大きく変える改革が必要	な状況に、なっています。	その中で教育は最も未来につながる	重要な分野の一つです。	私も教育に貢献したいと思えます。	一つ目として、学校をはいめ社会全体のオンライン教育の推進。	二つ目は、スポーツ教育を通じて生涯の健康管理、疾病予 <sup>防</sup> 断の枠作り。	三つ目は、訪日外国人も含めて中野に来たいと思ふような環境作りです。	以上の3点をはいめ中野区教育委員の一員として、今後取り組んでいきたいと思ふ応募させていただきます。	※1枚以内で記入してください
---------------	-----------	-------------------------------	--------------	------------------------------------	---------------------------------------	--------------	------------------	-------------	------------------	-------------------------------	--	-----------------------------------	---	----------------